

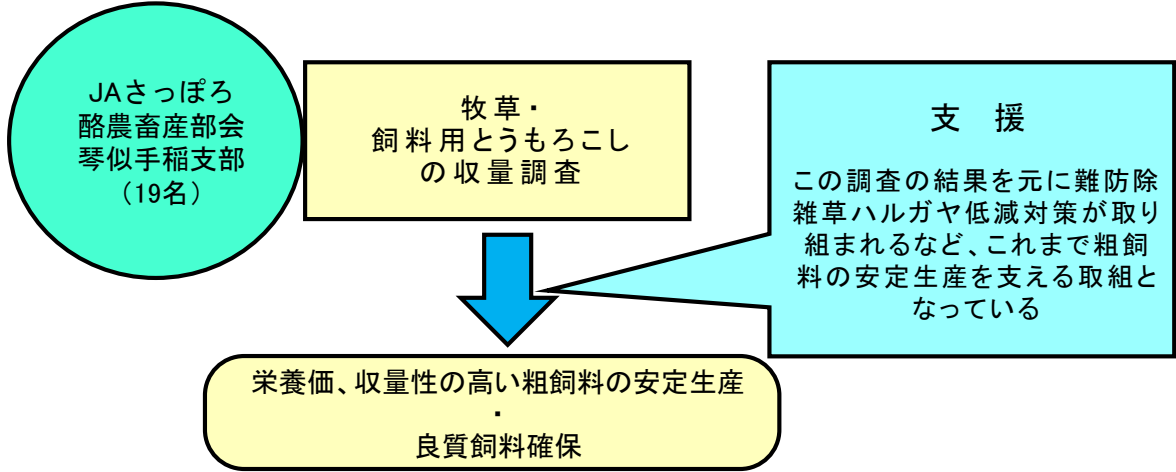
飼料作物の安定生産

牧草・飼料用とうもろこしの収量調査と情報提供

活動年次：令和3年

石狩農業改良普及センター石狩北部支所

1 課題設定の背景 *****



2 活動の経過 *****

6月 牧草の収量調査
(支部会員の草地12か所)

生育ステージはオーチャードグラスが出穂期、チモシーが穂ばらみ～出穂始で、支部会員の一番草刈り取りが一斉に進む中での調査となった。収量は概ね平年並だが、ほ場間差は大きい。
(調査ほ場は定点ではなく、会員の任意による)



写真1 貴重な情報交換の場
牧草収量調査にて部会の皆さん

9月 飼料用とうもろこしの収量調査
(3か所)

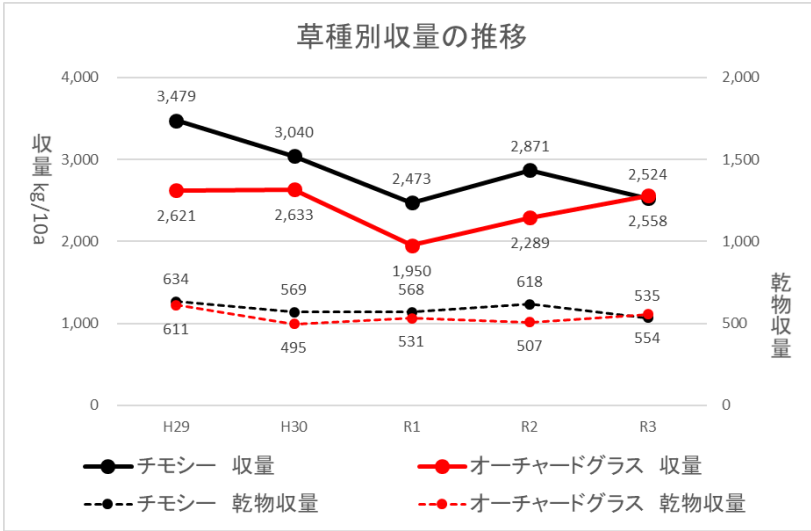
7・8月の降水量不足でデントコーンの生育不良が心配されたが、調査ほ場の生育は良好。



写真2 デントコーン収量調査で
熟度の確認

2月 情報提供
(収量調査結果の総括の配布)

3 活動の成果 *****



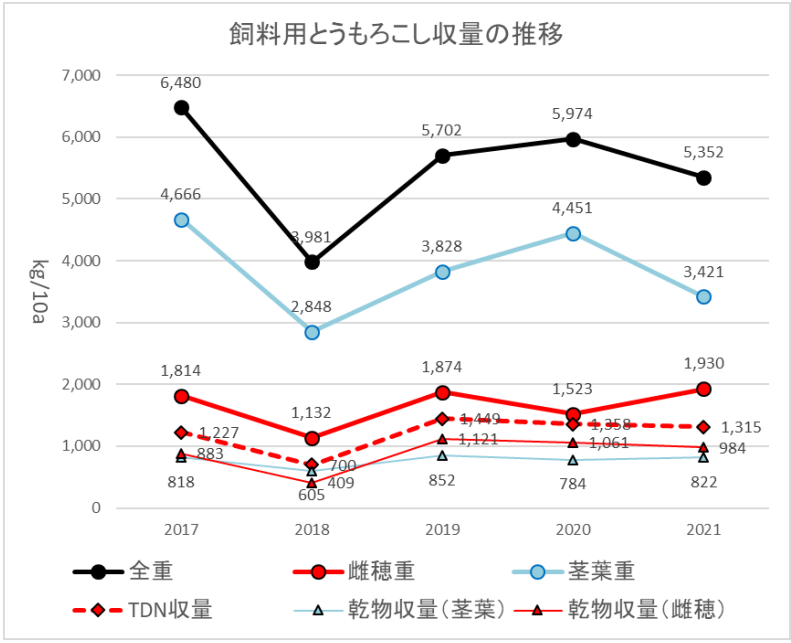
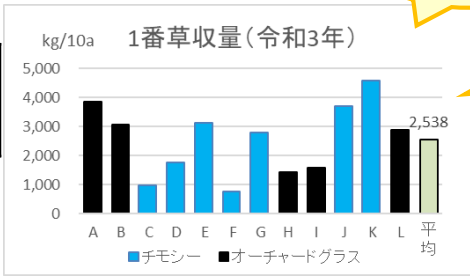
牧草収量調査を継続することにより、ハルガヤ、ギンギシ等の難防除雑草の対策が取り組まれ、収量・品質の維持向上が図られた。

畜産クラスター事業で機械導入・草地更新(平成30～令和2年)

草地更新してよかったー

うちもそろそろ...

改善はまだ途上で、ほ場差は大きい。



干ばつ・少雨で心配したけど、思ったより実入りがよくて一安心

この秋の低温で登熟の遅れが心配。もう少し早生の品種にすればよかったかも...

飼料用とうもろこしの生育・収量は、本年の少雨傾向から全重・茎葉重が少なく、乾物収量・TDN収量は昨年を下回る。

4 今後の活動 *****

